

2024年度 第2回 佐鳴台小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2024年6月20日（木） 14時30分から16時00分
- 2 開催場所 佐鳴台小学校 会議室
- 3 出席委員 辻 博康、野嶋 京登、大西真理子、橋本 博行、嶋津 歌絵、山下さおり
羽広 雄太
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 諏訪部高央（佐鳴台協働センター）
- 6 学校支援コーディネーター 結城 真澄
- 7 学 校 染葉 泰伸（校長）、畠山 徹（教頭）、森本 智子（主幹）
鈴木 史恵（CS 担当教職員）、待井 香世（CS 担当教職員）
朝倉 君江（CS ディレクター）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CS ディレクター 朝倉 君江

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から羽広委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）本年度の重点「つながる力」について
- （2）昼休み等の見守り活動について
- （3）今後の学校支援活動の方向性について
- （4）運動会の子供の様子について

12 会議記録

司会の待井から、委員総数7人全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- （1）本年度の重点「つながる力」について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき本年度の重点「つながる力」について説明があり、この後の熟議は「つながる力」を考えながら進めてほしいとの旨の説明があった。

- （2）昼休みの見守り活動について

議長の指示により、待井から、昼休みの見守り活動について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 手紙が3枚入っていた。本当は「ちょっと辛いから聞いて」というものを入れてくれると良いが、まずは感謝の手紙でもなんでも入れてくれると良いと思う。（嶋津）
- ・ 昨年より充実していたように感じた。どのくらい手紙が入っていたのか、受け取った人の反応、手紙を送った後の反応を知りたい。（大西）
- ・ 「見ている」だけではなく「一緒に遊ぶ」こともしているので、「見守り」という名称を変えた方がいいのではないか。（橋本）
- ・ トラブル時、誰に声を掛けたらいいのかわからないので、当番制で代表者をおいてはどうか？代

表者はボランティアでも保護者でも先生でもいいと思う。(辻)

※校長より・・・人と関わることの気持ちよさを感じるきっかけになればよい。人がたくさん集まっている時の立ち振る舞いも学べれば良いと思う。

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

(3) 今後の学校支援活動の方向性について

議長の指示により、待井から、今後の学校支援活動の方向性について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 算数サポーターが10名も参加してくれて、自分が子供の頃に比べたら支援が手厚くていい。市内全体で広まると良い活動だと思う。ボランティアだけで続けるのは大変ではないか。市で支援して制度化してくれればいい。(野嶋)

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

(4) 運動会の子供の様子について

議長の指示により、教頭から、運動会の子供の様子について説明があり、委員からは、以下の発言があった

- ・ 中学生が小学校の運動会を見に来ていた。兄弟がいるわけではない子も来ていた。卒業生と一緒にダンスをやっていた。小学校と中学校が近い関係で繋がっているのが特別で良いと思う。(辻)
- ・ 年齢が違っていてもつながりあえる。運動会や行事そのものが感情で動ける仕掛けであり、大切なことだと思う。人を恐れずに繋がれる。(山下)

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

その他報告事項等

- ・ 4・5・6月の学校支援活動について
- ・ コーディネーター研修会の報告
- ・ 次回は、令和6年10月4日(金)に開催